

資料 ④

公共事業評価委員会

平成 25 年 10 月 22 日(火)

横浜市

平成 25 年度 第 1 回
横浜市公共事業評価委員会

【再評価】

道路整備事業

(道路局)

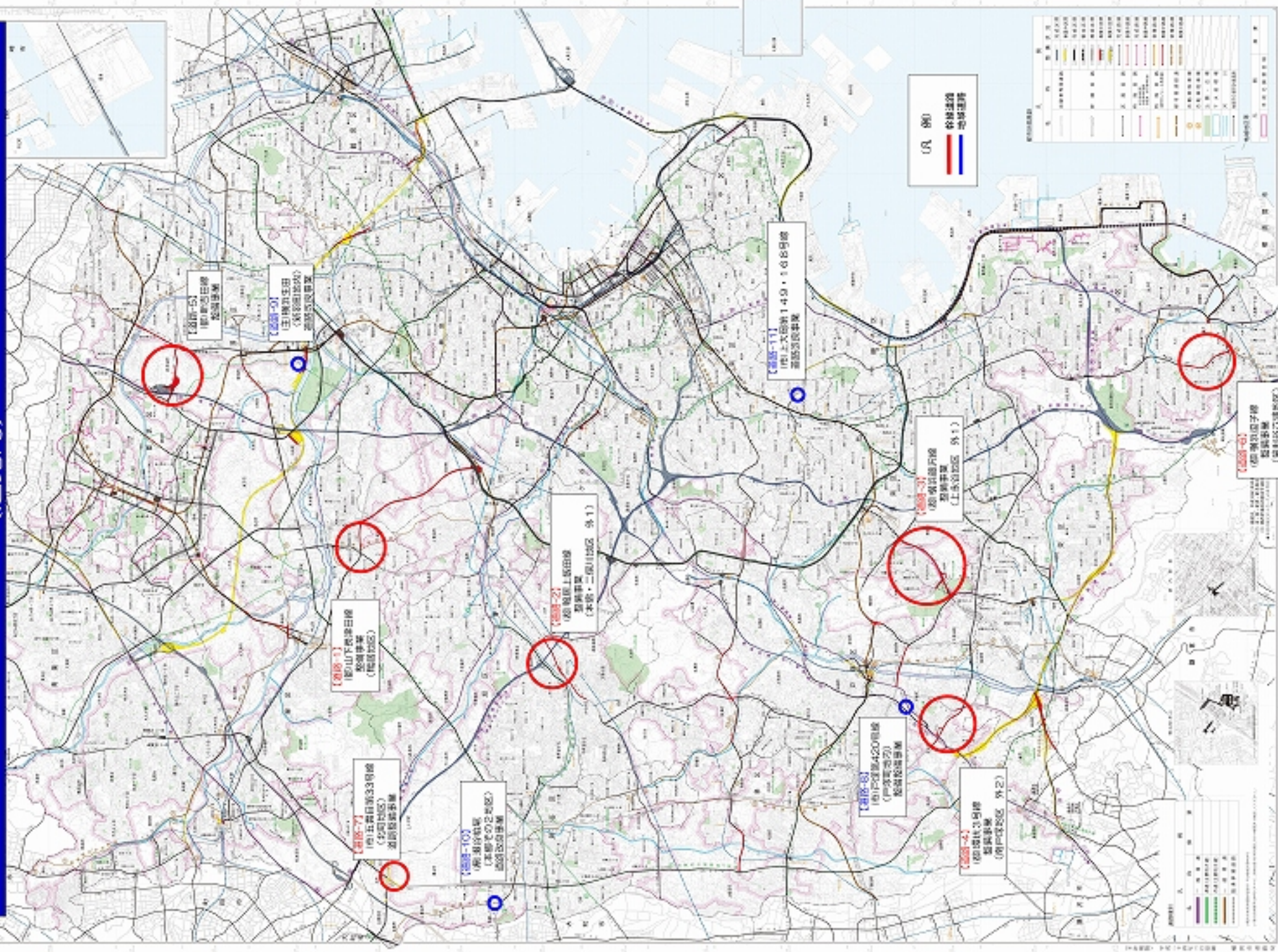
目次

- 平成 25 年度 横浜市事業再評価対象事業一覧（道路局）・・・・・・・・・・ 1
- 平成 25 年度 横浜市事業再評価対象事業総括図（道路局）・・・・・・・・・・ 2
- 横浜市地震防災戦略「緊急輸送路等の整備」について・・・・・・・・・・ 3
- 事業別資料
 - 〔幹線道路〕
 - 【道路-1】都市計画道路 山下長津田線整備事業（鴨居地区）・・・・・・・・道 1-1
 - 【道路-2】都市計画道路 鴨居上飯田線整備事業（本宿・二俣川地区）・・・・道 2-1
 - 【道路-3】都市計画道路 横浜藤沢線整備事業（上永谷地区 外1）・・・・道 3-1
 - 【道路-4】都市計画道路 環状3号線整備事業（南戸塚地区 外2）・・・・道 4-1
 - 【道路-5】都市計画道路 新吉田線整備事業・・・・・・・・・・道 5-1
 - 【道路-6】都市計画道路 横浜逗子線整備事業（釜利谷六浦地区）・・・・道 6-1
 - 【道路-7】市道 五貫目第33号線整備事業・・・・・・・・・・道 7-1
 - 〔地域道路〕
 - 【道路-8】市道 戸塚第420号線整備事業・・・・・・・・・・道 8-1
 - 【道路-9】主要地方道 横浜生田（新羽町地内）道路改良・・・・・・・・道 9-1
 - 【道路-10】県道 瀬谷柏尾（本郷その2地区）道路改良・・・・・・・・道 10-1
 - 【道路-11】市道 上大岡第149・168号線道路改良・・・・・・・・道 11-1
- 費用便益分析マニュアル（別冊）
 - 道路：費用便益分析マニュアル（平成 20 年 11 月） 国土交通省 道路局 都市・地域整備局

平成25年度 横浜市事業再評価対象事業一覧（道路事業）

	番号	事業名	施工箇所	事業規模	全体事業費 (百万円)	進捗率(%) H24年度末		事業採択 年度	完成予定 年度	再評価 理由	備考
						事業	用地取得				
幹線道路	道路-1	都市計画道路 山下長津田線 整備事業 (鶴見地区)	緑区白山一丁目 ～鶴見町	延長+1,510m 幅員+22m (住棟4車線)	20,117	68.6	87.3	H6	H27	再評価後 5年経過	
	道路-2	都市計画道路 鶴見上高田線 整備事業 (本郷・二保川地区 外1)	鶴見本町町 ～さちが丘	延長+1,630m 幅員+1.8～28.5m (住棟2車線)	19,551	73.4	89.5	S63	H27	再評価後 5年経過	
	道路-3	都市計画道路 鶴見藤沢線 整備事業 (上水谷地区 外1)	港南区丸山台四丁目 ～戸塚区鶴見町	延長+1,910m 幅員+3.2～4.8m (住棟4車線)	20,102	66.8	99.5	H1	H30	再評価後 5年経過	
	道路-4	都市計画道路 塚本3号線 整備事業 (南戸塚地区 外2)	戸塚区戸塚町 ～塚本町	延長+2,030m 幅員+22m (住棟4車線)	26,021	75.3	82.9	S62	H29	再評価後 5年経過	
	道路-5	都市計画道路 新古田線 整備事業	港北区早瀬一丁目 ～港北区新古田町	延長+1,260m 幅員+2.5～4.0m (住棟4車線)	13,500	7.8	8.1	H10	H29	再評価後 5年経過	
	道路-6	都市計画道路 鶴見道子線 整備事業 (宮前谷六浦地区)	金沢区宮前谷南一丁 目～六浦町丁目	延長+1,400m 幅員+2.0～3.2m (住棟4車線)	18,500	19.1	79.9	H16	H29		
	道路-7	市道 五真田第33号線(北町地区) 道路整備事業	瀬谷区北町地内	延長+800m 幅員+2.2m (住棟4車線)	1,800	43.9	85.4	H20	H29		
地域道路	道路-8	市道 戸塚第420号線(戸塚町地内) 道路整備事業	戸塚区戸塚町地内	延長+180m 幅員+4.5m 幅員+1.5m 歩道幅12m	1,850	56.4	99.5	H18	H28		
	道路-9	主要地方道 鶴見生田(新羽町地内) 道路改良事業	港北区新羽町地内	延長+325m 幅員+9m (車道7m、歩道2m)、 P/Cバイク1箇所	243	29.8	28.6	H18	H28		
	道路-10	市道 持谷北線(本郷の2地区) 道路改良事業	瀬谷区本郷一丁目 ～二丁目	延長+300m 幅員+1.1m (車道7m、歩道2m×2)	765	71.4	75.6	H18	H29		
	道路-11	市道 上大岡第14号・16号線 道路改良事業	南区大岡三丁目 ～五丁目	延長+250m 幅員+1.5m (車道9m、歩道3m×2)	1,074	8.6	3.9	H20	H32		

平成25年度 横浜市事業再評価対象事業総括図 (道路局)



施策Ⅱ－５ 緊急輸送路等の整備（重点施策）

【 施 策 方 針 】

災害時の応急活動や物資輸送を支える道路ネットワークを構築するため、道路、港湾道路の整備・機能維持対策を進めます。

特に緊急輸送路については、災害時に輸送機能を確保できるように、路面下空洞調査、マンホール浮上り防止対策等を実施します。

また、災害時における市民の生活や市内の経済活動を支えるため、耐震強化岸壁の整備等を進めます。

【 行 動 計 画 】

【行動計画 2 4】 緊急輸送路等の整備

- ・災害時の消火活動や救助活動、緊急物資の輸送機能確保のため、緊急輸送路となる高速道路や18m（4車線相当）以上の幹線道路・港湾道路の整備を進めます。
- ・消防活動や避難等の円滑化に役立つ一般道路の整備や踏切道の立体交差化を進めます。
- ・橋梁の耐震補強や老朽橋の架替え、歩道橋の耐震補強、無電柱化の推進などの緊急輸送路等の地震対策を推進します。
- ・発災時に緊急輸送路等の機能が発揮されるよう、路面下の空洞調査を実施します。
- ・緊急輸送路並びに鉄道等に隣接する市管理河川の河川施設（護岸等）の地震対策を推進します。
- ・緊急輸送路下に敷設している下水道（マンホール）の浮上防止対策等を進め、災害応急対策に必要な物資・資機材・要員等を輸送する交通機能を確保します。《再掲》
- ・災害時に防災上重要な拠点となる区役所や消防署等から緊急輸送路までのアクセス路線の確保のためには、沿道建築物の耐震化が不可欠であることから、啓発や費用の一部補助を行います。《再掲》

10年後の目標	主な事業（主管する局）
<ul style="list-style-type: none"> ■横浜環状北線の完成（～平成28年度） ■横浜環状北西線の完成（～平成33年度） ■横浜環状南線の完成（～平成27年度※開通年度については、検討が必要） ■南本牧ふ頭連絡臨港道路の整備（～平成28年度） ■相模鉄道本線星川～天王町の高架化（～平成30年度） ■老朽橋の架替えを除く橋梁の地震対策完了（～平成34年度） ■緊急輸送路等優先順位の高い歩道橋101橋の耐震補強（～平成29年度） ■緊急輸送路約360km及び緊急輸送路を除く幹線道路約520kmの路面下空洞調査（～平成34年度） ■緊急輸送路下の下水道（マンホール）の浮上防止対策約30km（～平成34年度） 	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜環状道路等の高速道路の整備（道路局） ・18m（4車線相当）以上の幹線道路の整備（道路局） ・南本牧ふ頭連絡臨港道路の整備（港湾局） ・防災に役立つ一般道路の整備や踏切道の立体交差化（道路局） ・橋梁の耐震補強、老朽橋の架替え（道路局） ・歩道橋の耐震補強（道路局） ・無電柱化の推進（道路局） ・路面下空洞調査（道路局・港湾局） ・河川施設（護岸等）の地震対策（道路局） ・下水道（マンホール）の浮上防止対策の実施（環境創造局・港湾局） <p style="text-align: right;">など</p>

【行動計画 25】 港湾施設の強化等

- ・災害時に緊急物資や復旧資材等の海上輸送拠点としての役割を担う緊急物資等輸送用耐震強化岸壁について、今後7バースの整備を順次進めていきます。
- ・災害時に横浜港の国際コンテナ物流機能を維持することで、国内の経済活動を支える物流機能維持用耐震強化岸壁について、今後5バースの整備を順次進めていきます。
- ・災害時において、救援物資・人員の輸送、宿泊施設等の救護拠点としての船舶等の利用、また、漂流物の除去等について事業者との協力体制を引き続き構築していきます。

10年後の目標	主な事業（主管する局）
<ul style="list-style-type: none"> ■緊急物資等輸送用耐震強化岸壁（新港9号耐震強化岸壁改修）（～平成28年度） ■物流機能維持用耐震強化岸壁 本牧D4、南本牧MC3耐震強化岸壁整備（～平成26年度） 南本牧MC4耐震強化岸壁整備（～平成34年度） 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急物資輸送用耐震強化岸壁整備事業（新港9号耐震強化岸壁など）（港湾局） ・物流機能維持用耐震強化岸壁整備事業（本牧D4、南本牧MC3・MC4耐震強化岸壁など）（港湾局） ・事業者と連携した災害時の海上輸送手段の確保等（港湾局） <p style="text-align: right;">など</p>

